

## 音楽の種を… 寄付の鍵盤ハーモニカ1180台

### フィリピンの小中に寄贈へ



鍵盤ハーモニカを洗浄する浜松ロータリークラブの会員ら＝浜松市中区の市民協働センターで

#### 浜松RCが最終準備

浜松ロータリークラブ（RC）などは10月中下旬、浜松市民らから寄付された中古の鍵盤ハーモニカ1180台をフィリピンの子どもたちに贈る。担当者は「音楽の街・浜松から音楽の種をまきたい」と意気込んでいる。

2017年に静岡文化芸大（中区）などの学生でつくる団体「HANDS（ハズ）」が企画し、グローバル人財サポート浜松が協力してきた。当初は手荷物で毎年運び、新型コロナウイルスの影響による中止を挟んで計300台を寄贈。今年には浜松RCが出資して船で大量に

運べるようになり、南部ダバオ市の小中学校7校に届ける。鍵盤ハーモニカは、浜松市内の小中学校に協力してもらい、卒業して使わなくなったものを譲ってもらったなどして集めた。浜松RCの会員ら延べ100人が今夏の2日間、中区の市民協働センターで汚れを洗剤で落とし、音が鳴るかの確認もした。

田畑隆久会長は「多くの子どもたちが鍵盤楽器に触れられるようになり良かった」と喜んだ。ハズズのメンバーらは来年2月、ダバオ市を訪れ、鍵盤ハーモニカを受け取った子どもたちと交流する。（戸田稔理）